

会 議 要 録

名 称	西予市移住交流促進協議会 部会名：住まい・空き家対策部会	
開 催 日 時	令和2年7月27日(月)19:30~20:30	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階 大会議室	
出席者	委 員	委員 7人
	事務局	穴井祐介 小田原 誠
議事内容(要旨)	<p>部 会 長：シーバース玲名 副部会長：井関晃平 ファシリテーター：穴井祐介 記 録 係：小田原 誠</p> <p>◎ファシリテーターにより進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・部会長、副部会長の選考を互選により実施。 ※結果は上記のとおり ・部会内の情報交換等は、LINE で実施する。 ・テーマ、意見、アイデアそれぞれについて、意見交換を実施した。部会員が共通認識を持てるように進めた。 <p>※以降、部会内で協議中に出てきた意見</p> <p>【テーマ】に関するもの</p> <p>○付箋：家財道具の存在、仏壇、空き家バンク、家族が帰省、売れるが貸せない、改修の費用が大きい、家主が不明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税の支払いの時、空き家バンクへ登録を促すチラシを同封している。家主からの希望によって、登録ができる。問い合わせは、月に3件ほど。 ・賃貸を希望する方が多いが、実際には家主は売りたい希望が多いというミスマッチがある。 ・空き家の解体費用を、借りる側が負担してもらい、その土地を希望者に売る手法は？ ・空き家店舗の利活用 	

- ・個人が空き家を探していても、持ち主がどこにいるか不明の場合がある。市の方で誰が所有者かわかる家もあり、市がそういった場合に中継ぎするようなシステムは？
- ・市の方で紹介できる物件は、HPに掲載しているもののみ。
- ・県の補助事業になるが、H28年4月1日以降の転入者なら、リフォームの補助を受けることができるので、活用してはどうか。
- ・市のリフォーム補助事業で20万円を借りれるのは、本年度で終了となる。もっと前に終了予定であったが、伸び伸びできていた。

【意見】に関するもの

- 付箋：他の部会との連携、仲介者がいると良い、倒壊の不安、空き家を手放す側のメリットの見える化、改修不可は取り壊し。
- ・他の部会との連携では、子育て支援に関することも重要
 - ・移住の相談では、仕事は何があるのか聞かれる。
 - ・仕事について、ある程度紹介できる状態にしておくべき。実際に引っ越してきてから困るのはダメ。
 - ・市では、空き家の紹介はできても、実際の契約に関しては不動産側の業務であり、誰が引っ越してきたのかまでは分からない。住むことまでは把握できるが、情報の共有はどのような内容でどの範囲まで？
 - ・空き家を使ってほしい業種・業務を絞り込んでPRした方が、個人の検索にかかりやすいのでは。
 - ・農地等（柚子や栗）、農業をやりたい方へのPR方法は？農地バンクとか？
 - ・農地を買うのと借りるのでは価格が異なる。
 - ・農地付きの空き家として売買するのは？
 - ・後継者のいない高齢世帯が管理している手入れの行き届いている立派な農地（柚子や栗）を、上手に連携して耕作放棄地にしないようにできないか。
 - ・倒壊危険家屋撤去費用の大半を補助する事業もあるので、有効的に利用していただきたい。
 - ・そういった事業の対象となる範囲を拡大できないか。
 - ・耐震化に関する補助もあるので、改修検討のために有効に活用してほしい。

	<p>【アイデア】に関するもの</p> <p>○付箋：リビルディングセンター、サテライトオフィス、リフォーム塾、シェアハウス、空家対策専門の団体、コールセンター、固定資産税のUP、ゲストハウス、アトリエ、レンタルスペース化、空家内覧ツアー、家主への補助、空家マップ、園地（柚子や栗）の収入公開、ワークインレジデンス、農地バンク、定額全国飲み放題サービス、農地付き空家、耕作放棄地、建材や建具、農機の販売。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末を利用したリフォームDIY ・リフォーム塾内の交流。 ・DIYに慣れてない人用の研修会や合宿。 ・空家対策として、若手の建築家によるボランティア活動のリフォーム活動もあるらしい。 ・特定空家の取り組みで固定資産税のUPにより解体を促進しては？
備	考